

航空機業界サプライチェーン支援活動 (Wing サポートアクション)



令和3年1月15日

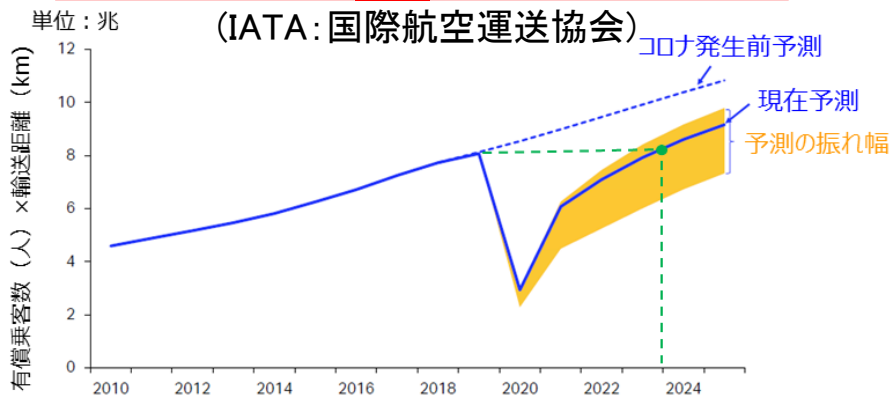
一般社団法人 日本航空宇宙工業会

新型コロナ禍を被った航空機産業の現状

- ◆ 航空旅客需要の大幅減に伴い、ボーイング社の生産停止(1ヶ月)や生産ペースの減少。エアラインのメンテナンス需要も大幅減。これを受け、国内重工メーカーやサプライヤー各社には多大な影響が及んでいるが、雇用調整助成金などの制度を活用して**事業継続努力を実施中**。
- ◆ 民間需要回復にはなお長期間を要すると見込まれるものの、回復後は**引き続き成長する産業**。また、航空機産業は**防衛基盤にも大きく関与**し、安全保障上の観点からも維持が不可欠。

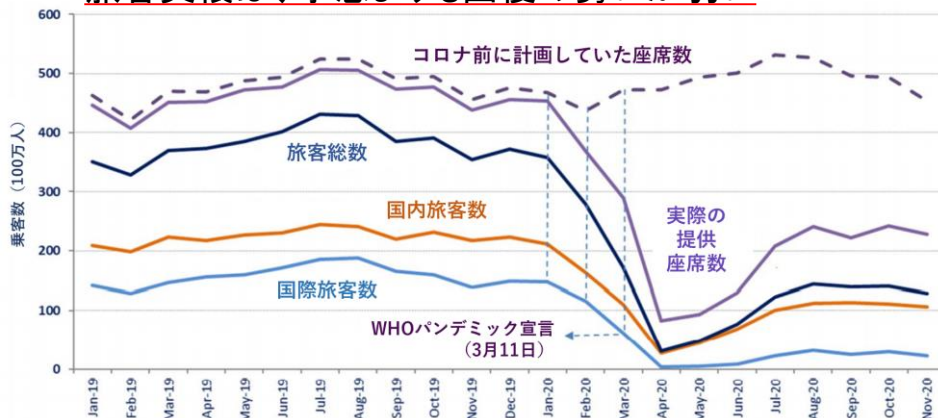
旅客需要の見通し(7月時点)

- 2019年の水準への回復には2024年までかかるとの予測



世界のエアライン旅客実績(ICAO:国際民間航空機関)

- 旅客実績は、予想よりも回復の勢いが弱い



機体メーカー(ボーイング社)の状況

- 16,000人の雇用削減を発表
- 2021年半ばにエバレット工場での組立は終了
(787最終組立をチャールストン工場に集約予定)
- 機体月産レートの縮小
787: 14機(従前)→10機(20年6月)→5機(21年)
777: 5機(従前)→4機(20年2Q)→2機(21年)

エンジンメーカーの状況

- 生産減少に加え、メンテナンス需要も蒸発
- GE社(米国) 航空機部門の従業員10%を一時解雇
- Rolls Royce社(英国) 航空機部門従業員17%の削減を発表

国内航空機メーカーの状況

- 民間航空機生産額は前年比46%減(10月)
※機体で39%、エンジンで54%減
- 中小サプライヤーの約90%が、前年比30%以上売上減
- 生産減を受け余剰人員が発生し、別業務への振り替や一時休業等対応に苦慮

航空機業界の自主的な取組み

航空機業界サプライチェーン支援活動(Wing サポートアクション)概要

◆ 新型コロナウイルスの難局を乗り越えるため、また民間航空機需要回復後の将来成長に向け業界横断的な支援の取組みとして、下記4項目に取り組んでいます。

1. サプライチェーン全体での「雇用対策」支援

民間航空機需要回復を見据えた人材確保のため、出向受け入れ企業の紹介や公的支援制度の活用などをサプライヤーに働きかけ、サプライチェーンの維持に取り組んでいます。

(具体的事例) サプライヤー従業員の出向受入先企業の紹介

雇用調整助成金等の活用による経験者の雇用継続と人材の育成 など

2. 「仕事のあっせん」

サプライヤーへの新規の仕事のあっせんに取り組んでいます。

(具体的事例) 海外サプライヤーから国内中小サプライヤーへの切り替え

航空機以外の仕事の紹介 など

3. 「中小企業の資金繰り」支援

中小企業のキャッシュフロー改善等に向けた支援に取り組んでいます。

(具体的事例) 支払期間の短縮化や前倒し、現金払い、前渡金支払等

経営状況や資金繰りのヒアリングとフォローの実施
生産性向上による利益改善(生産技術支援) など

4. 「デジタル化等の推進」支援

航空機需要回復後の国際競争力確保に向けた、DXを軸としたデジタル化、並びにロボットなどを利用した自動化の推進に取り組んでいます。

(具体的事例) ペーパーレス化(電子受発注並びに押印の撤廃を通じた業務効率化)

サイバーセキュリティ対策支援

DX推進人材の教育プログラムの提供

スマートファクトリー化の指導

自動化・ロボット技術など先端生産技術の開発/適用/教育支援 など